

ぬうの日常。

～ぬうトピア。TOPページ写真集～



作：せい。

自己紹介。

はじめまして、せい。と申します。

この写真集は、作者が運営する個人サイト「ぬうトピア」に掲載しているものの総集編になります。

ぬうトピアは、トップページで作者の日常や旅行の様子を紹介していくことを目的に始めたサイトです。

他にも作品紹介や自己紹介など雑多なものも隠れていますが、基本はトップ写真だけで楽しんでいただけるサイトになっています。

2013年から更新を始めたトップ写真も、数が増えてきましたので、電子書籍としてまとめてみることにしました。

無料で誰でもご覧になることができます。

「ぬう」は、ぬうトピアサイト上での作者のHN（ハンドルネーム）で、写真にちょいちょい出てくる変な生き物。

ネット上の作者の分身のような存在です。

合成ですし、大して可愛くありませんが、温かい目で見守ってやってください。

今回は、初期の頃の10タイトルを収録。

随時、続きも出していく予定です。

もし、この写真集を読んで、もっと別のネタが見たいと思ってくださった方がいらっしゃいましたら、

ぬうトピアサイト <http://www17.plala.or.jp/nootopia/nootopia-home.htm>

下部の過去トップのリンクからご覧ください。

りぬうある工事中。



ただいま急ピッチで進めております。
ご迷惑をおかけします。



がしかし。
ご迷惑をおかけ ...



なかなかうまくいかないんだよねえ。
重ね重ねご迷惑をおかけして
おります。



とって永らく放置し続けてきたHPを何とか「リぬうある（リニューアル）」させようと奮闘している間にトップに掲載させていただいていた写真。

ですが、準備中とは言っても、この時点ですでに

ぬうの、「リぬうある」は既に始まっております。

まあ、これもトップ絵デザインのひとつのことです。

これからも、こんな感じで色々と表現していきたいと思っておりますので見苦しいかもしれませんがよろしく願いたします。

ぬうの日常。その1



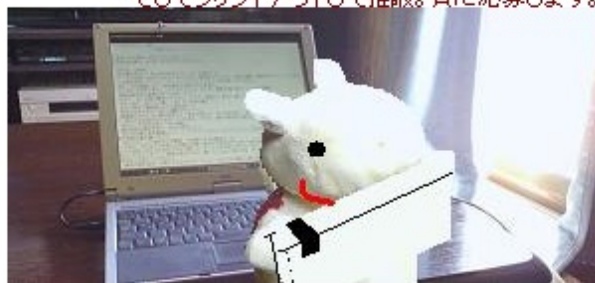
投稿用の原稿。簡易ワープロボメラで書いてます。



書いた後はパソコンで編集。



そしてプリントアウトして推敲。賞に応募します。



ぬうは時間があれば、ひたすら原稿を書いております。
出来ることならばずっと書いていたのですが・・・
せいぜい一日一時間くらいしか書く時間がありません（泣

そんな時に便利なのがポメラ。
単四電池二本ですぐ起動、いつでもどこでも文字が打てて重宝しています。
（このヘタクソな写真だとすっごく大きく見えますが、片手で楽に持てるサイズと軽さです。）

原稿を書いて応募するまでが、ぬうの生活サイクル一周。
書く作品によって執筆にかかる長さが違うので、周期は不定期。
ひとつ書き終わるとひと息ついて。
ひと息ついたらまた書き始める。
そんな感じ。

いつかそれだけのために時間を費やして
生きていけるようになりたいものですね。

ぬうの日常。その2



ドキュメント番組とか見ながら、気になる部分をメモメモ。



内容が盛り上がるにつれ、書くスピードもヒートアップ?



番組が終わると頃には屍と化します(疲)



ぬうはお休みの日とかは原稿も書きますが
まとまった時間があるときには
録りためたビデオを見るのがけっこう日課です。

バラエティとかアニメはサクサクっと見るだけなんです、ドキュメントはそうはいかない。
なぜかと言うと。
ネタになりそうな内容や、個人的に気に入った情報は
マイノートに逐一書き込んでいっているからです。

めんどくせーって思うかもしれませんが
きっと将来役に立つだろうと思ってコツコツやっております。

主に見るのはドキュメント。
よく見るジャンルは美術系、歴史系。
ぬうは西洋絵画や古代遺跡が大好きなのです。

解説のテロップが多いものは、一時停止してそれを書き写しますが
ひたすらしゃべってるだけってのも多いんで、それを書き出すのは大変。
聞き逃したら巻き戻したりもしますが、面倒なのでリアルタイムで書こうと躍起になり。
ひと番組終わるとすっごい疲労（汗

でもその達成感が癖になるのです。
馬鹿みたいなことしてますが、結構楽しいんですよこれが（笑
いい勉強になりますしね。



通りかかったフェリーに連れられて～♪



「竜宮城」って名前の船に乗ってみれば～♪



「絵には描けないけど写真ならオッケーよ」な美しさ～♪(笑)



家族旅行で 鳥羽に行きました。

鳥羽水族館から宿へ向かう途中でフェリーに乗りました。

ここが浦島伝説発祥の地なのかは...謎ですけど。

結構かっちょよかったですよ（悦

個人ボートの勧誘が多かったです。貸切もいいけど、やっぱフェリーも一回は乗りたい。

浦島さんと乙姫さんは別の船なんですよね～。

ぬうが乗ったのは乙姫さんの船。

潮風が気持ちよかった。気がする。





鹿児島にある西郷公園。

西郷どんといっしょに。

こんな可愛いのもありました♪

友人と一緒に去了。

初めての個人旅行！

スケジュールは全て友人が組んでくれましたよ～

ぬうはついて行っただけか！（ゴメンネ～

行き先は九州。

ぬう、生まれて初めて飛行機に乗りましてん。

地上を離れて空を飛ぶ感覚。

ひゃ～。何だか緊張しました。

旅行は出来る限り陸路がいいなあ。

と思った小心者のぬうでした。

ついたのは鹿児島空港。

降りてすぐのところにありました、西郷公園とやら。

もういかにも西郷どんを称えてますぜ～

と言いたげな西郷満点の西郷ワールド。

でかい像や等身大の像。

資料とかもたくさん展示してありましたよ～。



駅に到着です～



電車が来るのを待つ間も乙♪



車内も車窓からの眺めも素敵でした～



電車がまいりまあ〜す♪

隼人の風に乗って。

いざ鹿児島から熊本へ！

どこをどう行ったのか。さっぱり記憶がございませぬう。

行き先間違えて途中下車とかもしましたし。

まあ、行き当たりばったりの旅ってそんなもの。

でもそれが楽しいのやも知れません。

熊本城①



敵に攻め込まれないように。本丸までの道のりは遠いです。



天守閣から見る風景。ちょっと殿様気分。



デカくてキレイでした。熊本城。こんな顔のゆるキャラいた？



※この写真は2016年の熊本地震より以前の写真になります。
被災された現地の方々、熊本城には心よりお見舞い申し上げます。

熊本へ入り、市内のホテルで一泊。
友人はホテルの予約とかとれてすごいなあ～（尊
ぬうも何かしろや、って話ですよ(^-^);

夜は市内を闊歩して、温泉に入ったり馬刺しを食ったり。
からしレンコンもねゞ (>y<;) ノ。
初めての味。おいしかったです

ツアーなど、決まったスケジュールの観光って安心してできますが
あまり自由な行動ができませんよね。
比べて個人旅行は自由を満喫できますが、右も左もわからぬう。
ちょっとした冒険でした☆

続きまして、二日目は熊本城めぐりです！
修復が終わったところ？ とかで。綺麗なお城を見ることが出来ました♪
まだ、くまモンが出張ってきていなかった頃の、静かな熊本。
だからどうってことはないんですけど。

熊本城は戦国時代に出田秀信なる人物が建てたお城で、最初は千葉城といったのだとか。
明治維新や世界大戦などの戦争に巻き込まれますが全壊を免れ、重要文化財になってからは色々
整備されて今の観光名所になったようです。

桜の季節は終わりでしたが、お城を見るだけで圧巻でした～
石垣がすごいね、グーンと反ってる。
敵が登ってこれないような設計、ネズミ返しみたいなものでしょう。
スケボー名人とかに上まで滑ってってもらいたい。さすがに無理か（笑

中にも入りました。階段キツイ～。
西南戦争でも活躍した場所だとかで、当時の記録が展示してありました。
2007年の築400年祭の名残でしょうか。
綺麗な内装を見て歩くことができました。

その様子は次ページで！



ゴージャス!



エレガント!!



トレビアン!!!



※この写真は2016年の熊本地震より以前の写真になります。
被災された現地の方々、熊本城には心よりお見舞い申し上げます。

熊本城見学その②。
城の内部を初めて完全再現したとかで。

うひゃー綺麗ですねえ～
こんな畳の間でねっ転がれるのは合成ならでわ（笑
本当にやったら追い出されるでしょうね（汗

とにかく金、金、金って感じ。
でも成金趣味って感じではなく。
お上品でオサレでしたよ。とっても。

こうやって内部の探検も出来るなら、お城めぐりも楽しいなあ。
と思ったぬうでした。



長い階段。早くもギブ?



いえいえ、頑張って登ります。ここの腹くらいかなー



お賽銭してきました。115円、いいご縁。

日帰りで金比羅参拝に行っまいりました。

長一い階段。途中で諦めることもなく。勢いを殺すこともなく。
ひたすら登り続けました。

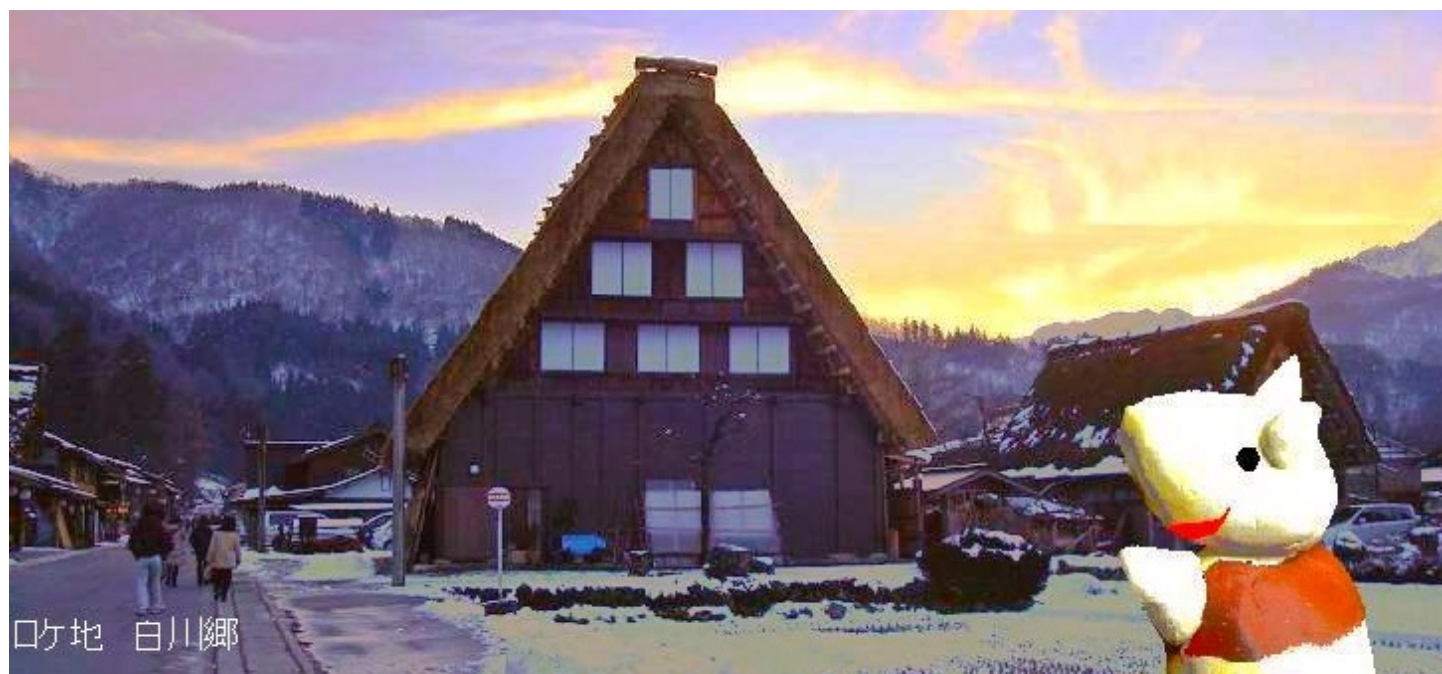
お賽銭奮発したら小銭なくなっちゃって。おみくじ引けなかった（哀
サラブレッドの名馬とか祭られてました。黒いのと白いの。

金比羅といえば香川。香川といえば讃岐。讃岐といえばうどん。
もちろん食いましたよー。

てか、手作り体験教室で作ってきました。

粉こねて一踏んで一伸ばして一

それはお持ち帰りで、食べたのは市販でしたが（オ
コシが強くてうまかったっすよー



えっ、ここ白川郷ですよね？ 茶店みたいですが、何でもありかい。



和田さんのお宅にお邪魔しました♪ 有料だよんぐえ



ありがと白川郷、さよなら白川郷笑



バスツアーで行きました。

飛騨・高山旅行。

あえて雪の季節に行く。気合も入ってますよお～

雪国は冬に見てこそ？ みたいな感覚があるぬうです。

でも寒いのは嫌いじゃ～

ツアー最後に寄ったのが白川郷。

世界遺産ということですが。

住民の方々の生活感がありすぎて。

ちょっとイメージと違ったなあ。

世界遺産＝遺跡っぽい。ではないということですね。

山奥のすごくド田舎。な印象を受けましたが。

山奥のド田舎に住んでいるぬうには格段珍しい風景ではなかったのかも。

静かに生活しているのに、観光客がたくさん押し寄せて、住んでる人たちはストレスじゃないのかなあ。とか、そんなことばっかり思って歩いていました。

張り巡らされた水路にニジマス？ みたいなのがたくさん泳いでいたのが感動でした。

大きかった！ おいしそう！（ㄉ

兎にも角にも、夕焼けに染まる合掌造り。素敵でした。

最後までお読みいただき、ありがとうございました！

ぬうの日常～ぬうトピア。TOPページ写真集～

作：せい。

発行：2017年4月

値段：無料

作者サイト ぬうトピア。

<http://www17.plala.or.jp/nootopia/nootopia-home.htm>

当作品の複製・無断転載はお断りします。